

第3期 pES club シナリオ 4

平成 16 年 4 月 24 日

虎の門病院分院 内科総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

sulzburger@amy.hi-ho.ne.jp

東京医科歯科大学大学院 健康推進歯学分野

南郷 里奈

rina.ohp@tmd.ac.jp

あなたは、黒蘭歯科大学附属病院口腔外科の2年目研修医です。

葉礼菜衣さん(24歳女性)の右下顎智歯の抜歯を無事終え、術後の処方を行うところです。

あなた「では葉礼さん、痛み止めのお薬と抗生剤をお出ししておきます。痛み止めは2回分ありますが、この後すぐ、麻酔が切れる前に1回分飲んで下さい。残りはまた痛くなったらお使い下さい」

葉礼さん「はい」

あなた「抗生剤は3日分出しますので、お昼ご飯のあとから飲んで、すべて飲み切って下さい」

葉礼さん「抗生剤って、何て言うやつですか？」

あなた「サワシリンというお薬です。化膿止めですから必ず飲んで下さい」

葉礼さん「あの・・・私、昔、ペニシリンアレルギーがあるって言われたことがあるんですけど、その薬、大丈夫？」

あなた「え、あ、じゃあ、サワシリンはやめて別のお薬に・・・ええと・・・」

葉礼さん「あの・・・実は、こないだ反対の親知らずを抜いてもらって、その時の薬が残っているんですけど」

あなた「えっ、化膿止めも残っているんですか？」

葉礼さん「んー、あったと思います。ってゆっかー、この前は、全然飲まなかったし・・・」

あなた「前は、セフゾンというお薬が出ていますね。では、今日は出しませんから、その残っているお薬を必ず飲んで下さい」

葉礼さん「えー・・・抗生剤って、ちゃんと飲まなきゃだめですか？前の時はほとんど痛くなかったし、腫れなかったから、薬いらなかったんですけど」

あなた「でも、親知らずを抜いた後はかなり腫れる場合も多いですからね。左側が問題無かったとしても、今回も平気とは限りませんよ」

こうして、葉礼さんには、セフゾン 300mg 分3 毎食後およびロキソニン(60mg)疼痛時1錠2回分の内服を行うよう話して帰しました。しかし、あなたは、抜歯後の予防的な抗生剤投与は必要ないのか疑問に思い、論文を検索することにしました。

第3期 pES club シナリオ 4 (追加シナリオ)

平成 16 年 4 月 24 日

虎の門病院分院 内科総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

sulzburger@amy.hi-ho.ne.jp

東京医科歯科大学大学院 健康推進歯学分野

南郷 里奈

rina.ohp@tmd.ac.jp

葉礼さんの下顎智歯は、両側とも、萌出時の痛みは無かったそうですが、歯冠の一部が歯肉を被っており、これまでに、周囲の歯肉が1,2度腫れたことがあったとのこと。将来的に妊娠や出産を控えた若い女性であることから、抜歯することに決定しました。

左下顎智歯の抜歯は、ひと月前に、あなたの指導医が行いました。左下顎智歯はやや近心に傾斜していましたが幸い骨の被覆は無く、抜歯はごく短時間で終了しました。右下顎智歯も同じように簡単な症例であろうということで、今回の抜歯は、初めから終わりまですべてあなたに任せられました。

葉礼さんの右下顎智歯を、術前にオルソパントモ撮影にて確認したところ、植立方向はほぼ垂直で、歯根も下顎管から十分な距離がありました。歯冠の遠心部分を覆っていた歯肉を剥離させると、完全に骨から露出した歯冠が認められ、容易に脱臼・摘出ができました。

なお、葉礼さんは特に既往歴もなく、機会飲酒で、たばこは吸ったことがありません。初診の際に記入して貰った問診表のアレルギーの項には、何の記載もありませんでした。